



小笠原諸島世界自然遺産の保全

ツヤオオズアリ対策を進めています

- ◆ ツヤオオズアリにより、世界遺産の価値としても重要な母島の陸産貝類が、危機にさらされています。

ツヤオオズアリとは？

- ◆ アフリカ原産と言われ、海外の海洋島では強力な侵略性を示し、生態系に大きな被害を与えています。
- ◆ 小笠原における生態系への影響は不明でしたが、今夏、ノミガイ類（小さな陸産貝類）に影響を与えている可能性が高いことが明らかになってきました。
- ◆ カイガラムシを保護したり、在来アリの攻撃する例も観察されています。



それ以外では
局所的に分布

集落地では
広範囲に分布

ツヤオオズアリ侵入エリアでは、これまで多数確認されたノミガイ類が極端に少なく、捕食された可能性が高い。

分布エリア

- ◆ 父島、母島への侵入が確認されています。母島では確認されていない場所も多く、まだ侵入初期段階である可能性があります。



試験的な駆除を行っています

全域の分布調査を進めながら、駆除が本格化できるかを調べるため、試験駆除を実施しています。

《駆除試験の概要》

実施期間：平成27年10~12月（予定）

実施場所：北港の東屋周辺、南崎の一部（20m×20m）

実施目的：分布域からの試験排除、駆除効果の確認、駆除剤の環境影響の確認。

実施方法：家庭用に市販されているアリ駆除剤（有効成分：フィプロニル）を、固定具を使用して設置。



薬剤設置の様子



ツヤオオズアリの拡散を止めるために

◆ これ以上分布域を増やさないため、村民の皆様のご協力をお願いします。

◆ 移動拡散は、 人間の活動にともなって起こる

ツヤオオズアリは、人の活動に伴って、分布エリアを拡大させるといわれています。実際に、現在ツヤオオズアリは人工物があるところに点々と分布しています。

特に、**集落地から森林内、父島・母島から属島**への移動・拡散をさせないよう、注意が必要です。

◆ ツヤオオズアリは、巣の移動が危険

ツヤオオズアリは多女王制で、一つの巣に数百匹～数万匹の個体と、多数の繁殖個体がいます。繁殖個体を移動させてしまうと分布域が拡大してしまいます。



ツヤオオズアリの巣

◆ 工所用資材や農業用資材の移動に注意してください

- ・ コンテナの隙間、コンパネの隙間、植物の根、植木鉢の底、段ボールの隙間など、少しでも隙間があれば巣を作ることができます。
- ・ 野外に長く置いていた資材には、巣を作っている可能性があるため、移動させる前にアリの付着がないか、よく確認し、アリの付着が無い状態で移動させてください。

ツヤオオズアリが巣を作る可能性があるものの例



単管パイプ



角材



木材パレット



資材用コンテナの隙間



外におかれたトン袋



ポット苗の土



木道の資材

なお、小笠原村条例により、何人もイエシロアリ等を母島へ持ち込んではいけません。父島をはじめ沖縄・九州～関東太平洋側地域からの苗木や木材などの持ち込みは原則禁止です。

世界自然遺産にかかわる地域課題への対応

地域課題検討ワーキンググループの開催

- ◆ 村民の皆様の暮らしと関わりの強いテーマについて、地域の皆様にご参加いただきながら、検討を進めています。

オガサワラオオコウモリとの共生に係る地域課題 WG

- ◆ 天然記念物であるオオコウモリは、農作物（果実等）を食害することがあります。人とオオコウモリの間を生じる軋轢の解消を目的に、ワーキンググループを開催しました。

<主な意見・議論の内容>

- 絶滅を防ぐために必要な個体数と、地域が受け入れられる個体数に差がある。適正な個体数がどれくらいなのか、決める必要がある。
- 農業者と話しながら、食害防止対策を充実させてほしい。
- 外来樹木の中にはコウモリがエサとしているものもあるので、外来樹木を伐採する際には配慮してほしい。
- エサとなる植物を植えることで問題が解決するのか、専門家の意見をうかがいたい。



- ◆ 地域として考えていく話と、専門家に考えていただく課題を整理し、目指すべきコウモリとの共存の姿を、今後も考えていきます。

愛玩動物による新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題 WG

- ◆ 生活のパートナーとして飼われる愛玩動物（ペット）は、人間の管理下を離れると、外来種として生態系に被害を与えることがあります。小笠原にふさわしいペットの飼い方、共生の姿を議論するため、2回にわたり、ワーキンググループを開催しました。

<主な意見・議論の内容>

- 小笠原の脆弱な自然生態系の中で愛玩動物を飼育していくからには、適切な飼養に努めなければならない。
- 愛玩動物は登録制として、島内への持ち込み状況を把握できるようにするのがよい。
- マイクロチップ挿入による個体管理をしてはどうか。
- 小笠原に持ち込まれて野生化すると危ない愛玩動物のリストを作成してはどうか。



- ◆ 人と、ペットと、野生動物が共生していくために、行政機関、村民に何ができるか、具体的な方法を考えていきます。

これからの世界遺産管理を考える

村民意見交換会（父島 10/17、母島 11/12）を開催しました

- ◆ 世界遺産の価値保全の取組を進める上では、自然と隣り合わせの場所で生活する地域の皆様のご協力が欠かせません。
 - ◆ 遺産と共存する暮らしの将来像を村民の皆様と今一度共有し、その実現に向け、共に歩んでいきたいとの思いから、今回の村民意見交換会では、村民の皆様が思い描く小笠原の将来の姿をワークショップ形式であげていただきました。
- 結果は、以下のサイトで公開しています。



ワークショップの開催風景

世界自然遺産に関する村民意見交換会の開催報告

http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/kankyo_ikenkoukan2/

- ◆ 今後も、このようなコミュニケーションの場を大切にしていきたいと考えています。
- ◆ 参加しやすいテーマや開催方法を工夫して参りますので、ぜひ、ご参加ください。



科学委員会・地域連絡会議の開催のご案内（12/15）

- ◆ 科学委員会と地域連絡会議を下記のとおり開催いたします。ぜひご参加ください。
- ◆ 日時：12月15日（火）
13：30～15：30 小笠原諸島世界遺産地域 科学委員会
16：00～18：00 小笠原諸島世界遺産地域 地域連絡会議
- ◆ 場所：（父島）地域福祉センター2階大会議室 （母島）村役場母島支所会議室
- ◆ 内容： <科学委員会>
 - 世界遺産委員会決議への対応状況
 - グリーンアノール対策WG、新たな外来種侵入拡散防止WG、父島列島生態系保全管理WG等の報告等<地域連絡会議>
 - 個別の地域課題の検討状況（愛玩動物、オガサワラオオコウモリ、外来種の拡散防止対策、ネズミ対策等）
 - 村民意見交換会について 等

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所

Tel/Fax：04998-2-7174/7175

E-Mail：RO-OGASAWARA@env.go.jp

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax：04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁

Tel：04998-2-2167

小笠原村環境課

Tel/Fax：04998-2-3111/3222

詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。
小笠原自然情報センターHP：<http://ogasawara-info.jp/>